

ここが聞きたい!

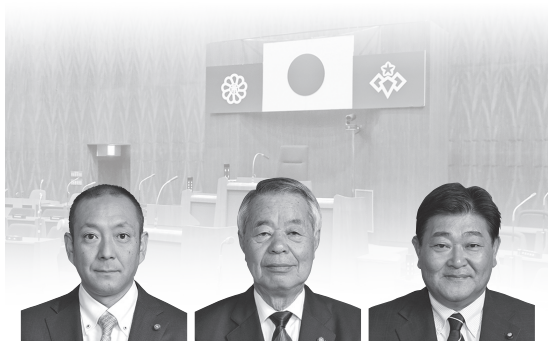
一般質問

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく、市政に関し自由に決め、事前に通告しています。

質問時間は40分

議員1人の質問時間は、市当局からの答弁も含めて、40分以内です。



議長、副議長及び監査委員を務める議員は、慣例により一般質問は行なっておりません。
【議長：北川久人議員(左)、副議長：岡部純朗議員(中)、監査委員：周藤雅彦議員(右)】

3月18日(木)・19日(金)の2日間にわたり、17人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の横は所属会派名(無会派は会派に属さない議員)

議員の提案

コロナ禍で生活厳しい学生に支援を



学生への無料食糧配布の様子

問 学生へ無料の食糧配布を行っている、まんぷくプロジェクト実行委員会という団体のアンケートにより、学生の厳しい現状があらわとなった。例えば家賃補助や食糧配布、水道料金の減免など、生活に必要な部分の支援を行うことについて、当局の見解は。

答 市の実情を踏まえた研究を行う。学生に対する支援の重要性は理解している。支援活動を行っている民間団体に対し敬意を表したい。学生のみを対象とする金銭的支援は、現行制度との公平性に関する課題が大きく、市民理解を得られることが重要と考える。今後、市の実情を踏まえた支援の研究をしていく。

そのほか…「空き家を活用した定住策」について質問

コロナ禍の学生

渡辺 恒議員
わたなべ ひとし
日本共産党議員団



学生への支援策について市の考えは

議員の提案

熱意に応えるべく手当の充実を



消防団員

問 今回の黒保根町の林野火災においては、地元消防団員の大きな活躍があり、山のことをよく知っていればこそ、手際よく消火へとつなぐことができた。他市と比較した当市の団員に対する報酬は。

答 地域の実情に応じ最大限努力。当市の基本団員の報酬額は年額49500円で、当市と同様に出勤手当を支給していない市町村の平均は48750円。2月に発生した黒保根町地内の林野火災は、桐生市消防団条例に基づく報酬加算が該当するため、該当する団員に3000円が加算される。今後も意見を伺いながら、他市の状況も参考に当市消防団の充実強化への研究を深めたい。

そのほか…「森林経営管理制度」、「鳥獣対策」について質問

消防団員の待遇

新井 達夫議員
あらい たつお
そつぞつ未来



団員の報酬は

石渡 宏明 議員
いしわた ひろあき

桐生のブタ

創志会



その位置づけは？

問 あまりに身近であるために見過ごされがちであるが、桐生のブタは大切な地域資源のひとつであり、大いなる可能性を秘めた宝物である。シティ・ブランドイング・アイテムとしての「格上げ策」について、当局の見解は。

貴重な地域資源の一つ

答 県内随一の産出額や有数の飼育頭数などから、桐生の特徴を示す貴重な地域資源であり、所管部局での更なる磨き上げに期待をしている。シティ・ブランドイング推進にあつては「単体」のみならず、他地域資源と「組合わせ」するなどして柔軟かつ効果的に市の魅力や価値向上につなげていくことが重要と考えている。

議員の提案

もっとPRして！



令和2年2月1日現在、桐生市の産出額は県内1位、飼育頭数では県内2位

そのほか…「林野火災」について質問

河原井 始 議員
かわらい はじめ

救える命

クラブ21



相談窓口には図書館の利用は

問 若い人の救える命を増やしたいと考えている。「SOSの出し方教育」に力を入れ、窓口の拡充に努めるとのことであった。一つの方法として、図書館に相談機能をもたせることができると考えますが、当局の見解は。

様々な視点からの検討が必要

答 図書館等の公立施設の相談機能について、相談できる窓口が増える点では、児童生徒にとって相談しやすい環境が広がり、大変良いと考えている。図書館等が相談機能としての役割を担うためには、各相談機能との連携、専門的な相談技術を持つ職員の配置等、様々な視点からの検討が必要と考えている。

議員の提案

図書館等の公立施設に相談機能を



桐生市立図書館

そのほか…「群馬県交通安全条例の改正」「教員の仕事」「デジタル化」について質問

飯島 英規 議員
いじま ひでき

積算根拠を明確に

無会派



積算内訳書に単価記載を求めているか

問 入札時に各者が提示する積算内訳書については「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」により工事請負の入札に際し、積算内訳書の提出が義務付けられているが、桐生市は積算内訳書に単価記載を求めているか。

単価記載までは求めていない

答 入札時に費目別に算出した金額が記載された積算内訳書の提出を求め、開札時に落札候補者から確認している。しかし、単価記載については、桐生市が作成した設計図書から各費用を積算しなければ積算内訳書を作成することができず、入札金額も算出できないため単価記載までは求める必要はないと考えている。

議員の提案

市民が納得する積算内訳書を求む



桐生市役所

議員の提案

新過疎法で移住・定住の促進を！



桐生市役所

問 新過疎法案が可決されると、黒保根地域だけでなく新たに旧桐生市地域が過疎地域として指定される。産業の振興と雇用創出のため、非常に重要な次期過疎計画。どのようなスタンスで臨むのか。

桐生らしい新たな対策を考える

答 人口減少対策について今までと違う対策を考える必要性が明確となった。これまでの取り組み内容を加速させ、桐生ならではの取り組みも視野に入れ、対策を図る必要がある。従来通りの制度であれば、財政的に大きなメリットが期待できるので、最大限活用したい。情報収集に努め、正式に指定された場合に速やかに対応できるように準備を進めたい。

新たな過疎計画にどのように臨むか

そのほか…「高齢者になっても安心して暮らせるまちづくり」「愛する桐生市で最期を迎えること」について質問

園田 基博 議員
創志会

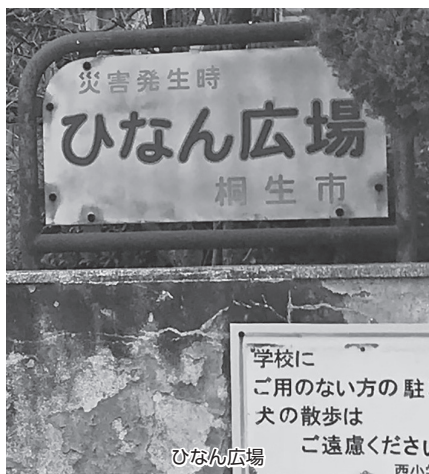


ピンチはチャンス



議員の提案

一目でわかる避難所の案内板を



ひなん広場

問 「ひなん広場」では、適応しない災害でも「避難できる場所」と、誤ったメッセージを伝えてしまうことが考えられる。避難所の案内として役目を果たしていないと考えるが当局の見解は。

わかりやすいものになると認識

答 「ひなん広場」の表示内容の意味は現在の指定避難所や指定緊急避難場所など、災害対策基本法で定義されている意味ではなく、「避難できる場所」という意味である。施設ごとに、役割や避難可能な災害の種類が異なっているため、災害の種類ごとに案内板を設置することは、避難する人にわかりやすいものになると認識している。

役割を果たしていないのでは

そのほか…「聴覚障害者支援」について質問

辻 正男 議員
そつぞつ未来



ひなん広場



議員の提案

带状疱疹ワクチンの助成できないか



予防接種の様子

問 带状疱疹という高齢者が主に発症する病気に対してのワクチン接種を進めることによって、罹患者が減り市民にとって医療費が抑えられ、また、带状疱疹で苦しむ人たちを出さずに、健康寿命を延ばしていける効果が期待できることから、带状疱疹ワクチンの接種費用の助成をする必要があると考えるが、当局の見解は。

国の動向等に注視する

答 現在、国の予防接種ワクチン分科会において、定期予防接種化に向けての有効性・安全性・費用対効果などを検討しているところであるので、今後国の動向等、注視していきたい。

带状疱疹ワクチンの助成は

そのほか…「ボタン電池」について質問

丹羽 孝志 議員
公明クラブ



高齢者ワクチン



工藤 英人 議員
くさむらひ ひとみ

コロナ禍の行事



デジタル化促進、当局の見解は

問 デジタルトランスフォーメーション（DX）の大きな波が来ている中で、行政改革の波に乗らないことは考えられない。デジタル社会を促進させる中で、改革実施に向けた考えは。

スピード感を持って取り組む

答 コロナ禍において、急速に進められているデジタル化については、スピード感を持って取り組む必要がある。そのためには、行政自らが担う行政サービスにおいて、市民目線に立った改革を進め、多くの市民がデジタル化のメリットを享受できるように取り組みを実行していくことが求められているので、DX推進室を中心に検討していく。

議員の提案

デジタル社会と行政改革、推し進めて



桐生市役所

そのほか…「更なる発展に向けた組織改革と人材育成」について質問

田島 忠一 議員
たじま ちゅういち

レッサーパンダ



レッサーパンダの展示方法は

問 令和2年第4回定例会の経済建設委員協議会ではレッサーパンダ展示舎の設計案が提示されたが、確認のためレッサーパンダの展示方法はどのようになるか。

魅力を引き出す工夫で展示する

答 飼育場所を季節によって変えられるように屋外と屋内に展示場を配置する予定。展示場は、来園者とレッサーパンダの間をガラスやアクリル板で仕切ること、動物が活発に歩き回る様子が間近に観察できる。屋内では吊り橋や遊具を設置し、木に登る性質を引き出す工夫をする予定。また、2階には観察しやすい吹き抜け構造の休憩室を設置しレッサーパンダの魅力が伝わる展示方法となる。

議員の提案

レッサーパンダの魅力を伝えたい



レッサーパンダ

そのほか…「個人に関わる税」について質問

人見 武勇 議員
ひとみ たけゆう

子どもの命を守る



子どもすこやか部の取り組みは

問 令和2年度より新設された「子どもすこやか部」。この一年間の総括と、今後の取り組みについて伺う。

子どもと親が輝くまち桐生の実現

答 新しい部で走るため臨んだ1年。実績は新型コロナウイルス対策に迫られる年となったが、独自策として、子育て世帯への商品券交付、保育施設等従事者への慰労金交付、新生児への特別給付金などの支援を講じた。成人式も十分な感染症対策の上開催できた。令和3年度は、子どもすこやか総合相談窓口を設置し、虐待・自殺から子どもの命を守る体制強化を図る。「子どもと親が輝くまち桐生」の実現のため取り組みを進める。

議員の提案

児童虐待防止対策と体制の強化が必要



保健福祉会館

そのほか…「市立幼稚園」について質問

議員の提案

コロナ禍でも教育の充実を



授業の様子

問 昨年春から学校が休校し、その後再開してから日常を取り戻しているのか。また、学び残しはないのか。

答 長期休業を短縮することで授業日数を確保し、教育課程の再編成を行い、単元を組み合わせたり、例題を減らすなど、軽重をつけながら授業を進めることで対応し、調査の結果、すべての学校が年度内に各学年の学習内容を指導し終える見込みであると報告を受けている。今後も新しい生活様式の中での学校生活が定着し、できる限り子どもの学びを止めないよう各校での教育活動を継続していく。

そのほか…「新型コロナウイルス感染症の取り組み」「福祉を充実させる取り組み」について質問

関口 直久 議員
日本共産党議員団

休校再開



学び残しはないか

議員の提案

不妊治療に対する医療環境の整備を！



不妊治療のイメージ

問 少子高齢化、また晩婚化が加速するなか、不妊治療の重要性が高まっている。令和4年度の保険適用に向けて、桐生市内で全ての不妊治療を受けられるよう、医療環境を整えるべきと考えられるが、当局の見解は。

必要性は認識している

答 身近な医療機関で保険適用となる範囲の全ての治療を受けられるよう、医療環境を整えていくことの重要性は認識している。今後、不妊治療が保険適用となることで不妊治療を行う方が増加することが考えられるので、他市の状況を踏まえ、関係機関と研究していきたいと考えている。

そのほか…「子どもの事故防止」について質問

久保田 裕一 議員
そつぞつ未来

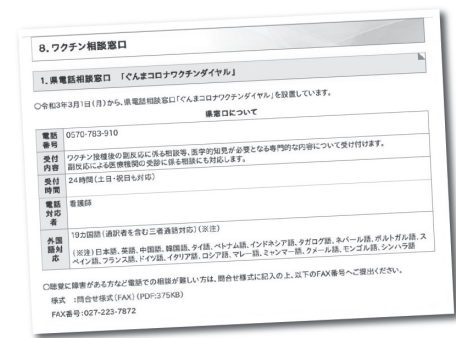
不妊治療



市内での医療環境を整備すべき

議員の提案

接種前に理解できるような情報を！



ぐんまコロナワクチンダイヤル (群馬県HPより)

問 国からワクチンについての明快な情報提供は未だないと感じる。接種選択前に、市民にとって分かりやすいワクチンの情報提供は、国から通達があれば可能になるのだろうか。

速やかに情報発信する

答 市民の皆様が、ワクチン接種を受ける際の判断を行うためにも広く情報提供を行うことは必要であると考え、市のホームページから厚生労働省のホームページに貼っている。今後、国より情報が提供された際には、速やかに市民に向けて情報発信を行いたいと考えている。

歌代 公司 議員
無党派

コロナワクチン



市民に情報発信されるのか

佐藤 幸雄 議員
創志会



近藤 芽衣 議員
そうそう未来



山之内 肇 議員
公明クラブ



公共施設運営

循環型社会の実現

大きなメリット

公共施設全般の運営方針は

給食残渣リサイクルの研究は

避難所不足への対応を

みどり市との公共施設の運営方針は

食べ残し、「廃棄」から「循環」へ

「届出避難所登録制度」の創設を

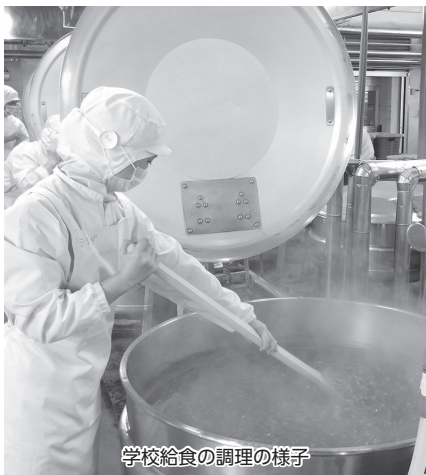
議員の提案



桐生市役所

そのほか…「し尿処理費」について質問

議員の提案



学校給食の調理の様子

議員の提案



避難所の様子

そのほか…「地域おこし協力隊の「力」を引き出す公共のあり方」について質問

問 桐生・みどり未来創生会議において公共施設の相互利用について協議されたことと、公共施設のあり方等調査特別委員会の提言書を踏まえた今後の運営方針について伺いたい。

両市で連携した公共施設運営をする

答 桐生・みどり未来創生会議では両市民委員から公共施設のあり方についてご意見を頂いた。また、人口減少に見合った適正規模の整備が必要である。「公共施設のあり方に関する提言書」の内容も踏まえる中で、桐生・みどり両市の共同施設を含めて、両市が連携し、しっかりと協議を行い、重要課題として取り組んでいく必要があると考えている。

問 1日約300キログラム発生している給食残渣。堆肥化処理施設に業務委託するとすれば、高額な初期投資をして施設を用意せずとも、残渣の堆肥化が行えるのではないか。給食残渣リサイクルの研究をしていくことについて見解は。

循環型社会への転換を検討

答 今後、国の食育推進基本計画による重点課題である「食の循環や環境を意識した食育の推進」の観点から、食品廃棄物、食品ロスの削減を検討していかなければならない。児童生徒への環境教育による食の大切さの指導を引き続き実施し、給食残渣のリサイクルなど、循環型社会への転換を検討していきたい。

問 市内には55の指定避難所があるが、「そこまでは遠くて避難できない」という声は多く、地域による偏在性にも課題がある。更に、コロナ禍で収容人数を大きく減らさざるを得ない状況下、避難しやすい体制づくりを進める必要がある。地域との連携によって、身近な集会所等を避難所として登録する「届出避難所登録制度」を創設し、市民が避難できる場を拡大すべきと考えるが当局の見解は。

制度化に向け検討する

答 災害時の迅速な避難者支援につながり、災害対策として有効な制度と認識している。先進自治体を参考に、制度化に向けて検討を進め、取り組んでいきたい。